



## 2022年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年4月11日

上場会社名 Sansan株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4443 URL http://jp.corp-sansan.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役/CEO (氏名) 寺田 親弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役/執行役員/CFO (氏名) 橋本 宗之 TEL 03 (6758) 0033  
 四半期報告書提出予定日 2022年4月11日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年5月期第3四半期の連結業績 (2021年6月1日～2022年2月28日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第3四半期	14,705	25.1	234	△71.5	750	56.7	575	39.0
2021年5月期第3四半期	11,753	21.5	823	324.5	479	490.4	413	-

(注) 包括利益 2022年5月期第3四半期 △1,095百万円 (-%) 2021年5月期第3四半期 400百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第3四半期	4.61	4.53
2021年5月期第3四半期	3.32	3.28

(注) 2021年12月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年5月期第3四半期	21,482	11,755	54.1
2021年5月期	24,310	12,584	51.5

(参考) 自己資本 2022年5月期第3四半期 11,627百万円 2021年5月期 12,516百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年5月期	-	0.00	-	-	-
2022年5月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2022年5月期の連結業績予想 (2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,230 ~20,716	25.0 ~28.0	450 ~800	△38.9 ~8.6	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の黒字の計上についても見込んでいますが、現時点では精緻化が困難であることから、具体的な予想数値の開示は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年5月期3Q	124,935,344株	2021年5月期	124,734,580株
② 期末自己株式数	2022年5月期3Q	736株	2021年5月期	160株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年5月期3Q	124,807,577株	2021年5月期3Q	124,559,955株

(注) 2021年12月1日付で普通株式1株を4株とする株式分割を行っています。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「出会いからイノベーションを生み出す」というミッションの下、「ビジネスインフラになる」というビジョンを掲げ、「クラウドソフトウェア」に「テクノロジーと人力によってアナログ情報をデジタル化する仕組み」を組み合わせた新しい手法を軸に、さまざまなビジネス課題を解決するサービスを展開しています。

具体的には、企業の営業活動や請求書業務、契約書業務等に対して、デジタルトランスフォーメーション（DX）を促進するサービスを展開しており、昨今の新型コロナウイルス感染症による働き方の変化やDXへの意識改革、SaaSビジネスへの関心の高まり等によって、DX市場は2030年に5兆1,957億円（2020年比3兆8,136億円増）（注1）、国内SaaS市場は2024年に1兆1,178億円（2019年比5,162億円増）（注2）の規模に達すると予想されています。また、法人向け名刺管理サービス市場は、当社サービスの成長等につれて2013年から2020年にかけて13倍に拡大しており、同市場において、当社が展開する「Sansan」は83.1%の市場シェア（注3）を占めています。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下の通りです。

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高	11,753	14,705	+25.1%
売上総利益	10,321	12,973	+25.7%
営業利益	823	234	△71.5%
経常利益	479	750	+56.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	413	575	+39.0%

当第3四半期連結会計期間においては、継続的な売上高の成長の実現に向け、人材採用をはじめとした営業体制の強化に取り組みました。また、クラウド請求書受領サービス「Bill One」や営業DXサービス「Sansan」、名刺アプリ「Eight」の機能拡充等に取り組みました。

また、2021年10月8日公表の通り、新市場区分「プライム市場」の選択を株式会社東京証券取引所に申請していましたが、2022年4月4日の新市場区分一斉移行に伴い、当社の市場区分はプライム市場となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比25.1%増、売上総利益は前年同期比25.7%増、売上総利益率は前年同期比0.4ポイント増の88.2%となりました。営業利益は前年同期比71.5%減となりましたが、これは中長期的な売上高の成長実現に向けた戦略を推し進めたことから、広告宣伝費が前年同期比で424百万円増加したことに加え、採用強化によって人件費が前年同期比で1,492百万円増加したこと等によるものであり、期初公表した連結業績予想に沿った実績です。また、経常利益は前年同期比56.7%増、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比39.0%増となりましたが、これは、2021年7月19日公表の通り、第1四半期連結会計期間において投資有価証券売却益を営業外収益に計上したこと等によるものです。

- (注) 1.「2022 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望 市場編、ベンチャー戦略編」富士キメラ総研  
2.「ソフトウェアビジネス新市場 2020年版」富士キメラ総研  
3.「営業支援DXにおける名刺管理サービスの最新動向2022」（2021年12月 シード・プランニング調査）

セグメント別の業績は以下の通りです。

①Sansan／Bill One事業

当事業セグメントには、営業DXサービス「Sansan」やクラウド請求書受領サービス「Bill One」等のサービスが属しています。当第3四半期連結累計期間におけるSansan／Bill One事業の成績は以下の通りです。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間（注4）	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高（注5）	10,660	13,199	+23.8%
「Sansan」	10,625	12,662	+19.2%
「Sansan」ストック	10,103	12,062	+19.4%
「Sansan」その他	522	600	+14.9%
「Bill One」	34	498	+1,356.4%
その他	0	38	+4,543.1%
営業利益	4,061	4,029	△0.8%
「Sansan」			
契約件数	7,523件	8,314件	+10.5%
契約当たり月次ストック売上高	159千円	167千円	+5.0%
直近12か月平均月次解約率（注6）	0.67%	0.65%	△0.02pt
「Bill One」			
MRR（注7）	9	92	+886.7%
有料契約件数	138件	707件	+412.3%
有料契約当たり月次売上高	67千円	130千円	+94.0%

- (注) 4. 前第3四半期連結累計期間の売上高及び営業利益以外の数値は監査法人によるレビューの対象外  
 5. 外部顧客への売上高及びセグメント間の内部売上高または振替高の合計値  
 6. 「Sansan」の既存契約の月額課金額に占める、解約に伴い減少した月額課金額の割合  
 7. Monthly Recurring Revenue（月次固定収入）

a. 「Sansan」

「Sansan」の契約件数及び契約当たり月次売上高のさらなる拡大に向け、営業体制の強化のほか、サービスの機能拡充等に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響によって、新規契約の獲得に一定のマイナス影響が生じたものの、リソースの効果的な配分をはじめとした営業体制の強化が奏功し、中堅・大企業の新規契約獲得が進みました。この結果、「Sansan」の契約件数は前年同期末比10.5%増、契約当たり月次ストック売上高は前年同期比5.0%増となりました。また、直近12か月平均の月次解約率は、強固な顧客基盤の実現に向け、既存顧客の利用拡大に対する継続的な取り組みを行った結果、前年同期比0.02ポイント減の0.65%となり、低水準を維持しました。

この結果、「Sansan」売上高は前年同期比19.2%増、うち、固定収入であるストック売上高は前年同期比19.4%増、その他売上高は前年同期比14.9%増となりました。

なお、2022年3月に、クラウド名刺管理サービス「Sansan」を「営業を強くするデータベース」をコンセプトに、営業DXサービス「Sansan」へプロダクト刷新しました。具体的には、株式会社帝国データバンクと連携することで「Sansan」上に100万件以上の企業情報が閲覧できる企業データベースを新たに搭載するほか、名刺だけではなく、メール署名やウェブフォームといったあらゆる接点情報を蓄積・可視化することを可能にします。これらの接点情報と企業データベースを組み合わせることで、接点がある企業のみならず、接点のない企業の情報も含めた利用企業ならではのデータベースを「Sansan」上に構築することができます。2023年5月期以降の「Sansan」の成長に向け、これら主要機能の追加を2023年5月期第1四半期中に実施する予定です。

## b.「Bill One」

「Bill One」のMRRのさらなる拡大に向け、人材採用をはじめとした営業体制の強化や機能拡充等に取り組みました。この結果、2022年2月におけるMRRは前年同期比886.7%増、ARR（注8）は1,109百万円となり、2022年5月末目標であるARR10億円以上を前倒して達成しました。また、中堅・大企業の新規契約獲得が進んだことから、「Bill One」の有料契約件数は前年同期末比412.3%増、有料契約当たり月次売上高は前年同期比94.0%増となりました。

この結果、「Bill One」売上高は前年同期比1,356.4%増となりました。

（注）8. Annual Recurring Revenue（年間固定収入）

## c. その他

既存サービスで培った強みや知見、ノウハウ等を活かして、クラウド契約業務サービス「Contract One」等の立ち上げに注力しました。

この結果、その他売上高は前年同期比4,543.1%増となりました。

以上の結果、Sansan／Bill One事業の売上高は前年同期比23.8%増、セグメント利益は前年同期比0.8%減となりました。

## ②Eight事業

当事業セグメントには、名刺アプリ「Eight」のほか、ログミー株式会社（以下、「ログミー社」）が提供する書き起こしメディアのサービスが属しています。

当第3四半期連結累計期間におけるEight事業の成績は以下の通りです。

（単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間（注4）	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比
売上高（注5）	1,094	1,430	+30.7%
BtoCサービス	221	213	△3.7%
BtoBサービス	872	1,217	+39.4%
営業利益	△548	△396	-
「Eight」			
「Eight」ユーザー数（注9）	286万人	305万人	+19万人
「Eight Team」契約件数	2,132件	2,621件	+22.9%

（注）9. アプリをダウンロード後、自身の名刺をプロフィールに登録した認証ユーザー数

## a. BtoCサービス

サービスの機能拡充等に取り組んだ結果、「Eight」ユーザー数は前年同期末比19万人増の305万人となりましたが、BtoCサービス売上高は前年同期比3.7%減となりました。

## b. BtoBサービス

各種BtoBサービスのマネタイズ強化に取り組んだ結果、BtoBサービス売上高は前年同期比39.4%増となりました。また、「Eight Team」の契約件数は前年同期末比22.9%増となりました。

以上の結果、Eight事業の売上高は前年同期比30.7%増、セグメント損失は前年同期と比較して151百万円縮小しました。

## (2) 財政状態に関する説明

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	前連結 会計年度末比
資産合計	24,310	21,482	△2,828
負債合計	11,725	9,726	△1,999
純資産合計	12,584	11,755	△829
負債純資産合計	24,310	21,482	△2,828

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産額は21,482百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,828百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少1,080百万円、投資有価証券の減少2,327百万円及び有形固定資産の増加346百万円、繰延税金資産の増加190百万円によるものです。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は9,726百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,999百万円減少しました。これは主に、短期借入金の減少200百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少636百万円、未払金の減少342百万円、繰延税金負債の減少571百万円並びに顧客企業から契約期間分の料金を一括で受領すること等による前受金の減少756百万円及び長期借入金の増加466百万円によるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産額は11,755百万円となり、前連結会計年度末に比べ829百万円減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少1,670百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加575百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月期の連結業績予想については、2021年7月14日に公表した内容から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,389	11,308
売掛金	571	493
前払費用	469	532
その他	117	215
貸倒引当金	△4	△6
流動資産合計	13,542	12,543
固定資産		
有形固定資産	504	851
無形固定資産		
ソフトウェア	1,023	982
のれん	185	236
その他	0	0
無形固定資産合計	1,209	1,219
投資その他の資産		
投資有価証券	8,344	6,017
敷金	702	650
繰延税金資産	-	190
その他	6	10
投資その他の資産合計	9,053	6,868
固定資産合計	10,768	8,938
資産合計	24,310	21,482



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	195	161
短期借入金	200	-
1年内返済予定の長期借入金	1,085	449
未払金	1,175	833
未払法人税等	154	222
未払消費税等	271	261
前受金	6,719	5,963
賞与引当金	359	230
その他	82	179
流動負債合計	10,243	8,301
固定負債		
長期借入金	879	1,345
繰延税金負債	571	-
その他	31	79
固定負債合計	1,482	1,425
負債合計	11,725	9,726
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,312	6,414
資本剰余金	4,053	4,154
利益剰余金	526	1,102
自己株式	△0	△1
株主資本合計	10,892	11,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,622	△48
為替換算調整勘定	1	7
その他の包括利益累計額合計	1,623	△41
新株予約権	65	122
非支配株主持分	2	5
純資産合計	12,584	11,755
負債純資産合計	24,310	21,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)
売上高	11,753	14,705
売上原価	1,432	1,731
売上総利益	10,321	12,973
販売費及び一般管理費	9,497	12,739
営業利益	823	234
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	16
解約違約金収入	3	2
助成金収入	5	1
投資有価証券売却益	32	979
投資事業組合運用益	2	-
その他	0	24
営業外収益合計	45	1,024
営業外費用		
支払利息	19	7
支払手数料	24	6
為替差損	1	1
賃貸借契約解約違約金損失	92	-
持分法による投資損失	232	462
投資事業組合運用損	-	16
その他	19	13
営業外費用合計	389	508
経常利益	479	750
特別利益		
新株予約権戻入益	-	0
持分変動利益	-	105
特別利益合計	-	105
特別損失		
固定資産除却損	3	6
減損損失	-	9
投資有価証券評価損	-	113
特別損失合計	3	129
税金等調整前四半期純利益	475	727
法人税、住民税及び事業税	167	221
法人税等調整額	△105	△62
法人税等合計	61	158
四半期純利益	413	568
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△6
親会社株主に帰属する四半期純利益	413	575

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益	413	568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△1,670
為替換算調整勘定	10	5
その他の包括利益合計	△13	△1,664
四半期包括利益	400	△1,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	400	△1,089
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△6

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いにしたがっており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

これによる、当第3四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微です。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取り扱いにしたがって、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取り扱いにしたがって、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。

なお、時価算定会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	Sansan/Bill One事業	Eight事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,660	1,092	11,753	-	11,753	-	11,753
セグメント間の内部売上 高または振替高	-	2	2	-	2	△2	-
計	10,660	1,094	11,755	-	11,755	△2	11,753
セグメント利益または損失 (△)	4,061	△548	3,512	-	3,512	△2,689	823

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでいます。  
 2. セグメント利益または損失(△)の調整額△2,689百万円は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。  
 3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に「Eight事業」セグメントにおいて、ログミー株式会社の株式を取得し、連結子会社として連結の範囲に含めたことにより、のれんを計上しています。当第3四半期連結累計期間において、当該事象によるのれんの増加額は190百万円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年6月1日至2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	Sansan/Bill One事業	Eight事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,198	1,427	14,626	78	14,705	-	14,705
セグメント間の内部売上 高または振替高	1	2	3	1	5	△5	-
計	13,199	1,430	14,630	80	14,710	△5	14,705
セグメント利益または損失 (△)	4,029	△396	3,632	△18	3,614	△3,379	234

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、子会社の事業を含んでいます。  
 2. セグメント利益または損失(△)の調整額△3,379百万円は、報告セグメントに配分していない全社費用の金額であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。  
 3. セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、プロダクト毎の成長促進のため、各プロダクトへの資源配分の最適化を図ることを目的とした経営管理体制の整備を行ったことから、従来の「Sansan事業」について、「Sansan」及び「Bill One」を含む複数プロダクトを含めた事業として「Sansan／Bill One事業」に変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

（収益認識に関する会計基準等の適用）

会計方針の変更に記載の通り、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益または損失の算定方法を同様に変更しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）  
該当事項はありません。